

科目名	保育・教職実践演習（幼）			担当	酒井 真由子・千葉 直紀		
形態	演習	単位数	2	開講時期	2年後期	実務経験	教員経験有（酒井）保育士経験有（千葉）
必修	幼免：必修 保育士：必修			ナンバリング	Y4104	DPとの関連	2・3・免1
授業概要	2年間の保育・幼児教育に関する学習を振り返ることを通じて、保育者として必要な保育に関する専門的知識及び技術、教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたかを確認し、自己の課題を明確化する。保育・幼児教育に関する現代的課題について、行政職員や保育者の講話、事例を通して理解し、他者と議論したり探究したりして、多様な視点から考察し、他者に自分の意見を伝える力を習得する。						
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 履修カルテに記録された学習の履歴を通じて、自己の課題を明確に理解する 保育・幼児教育の現代的課題及び園や保育者の役割について、行政職員や保育者の講義等を通じて理解する グループワークやディスカッションを通して、他者と意見交換し、保育・幼児教育に関する現代的課題について考察する 						
授業計画	回	内容					
	1	イントロダクション/これまでの学修の評価	本授業の概要・目的を理解する・履修カルテを用いて自分の課題を知る				
	2	保育者としての使命感や職務の理解	保育者の職務について理解する（行政職員・保育者の講義）				
	3	子どもの学び・成長の理解①	子ども同士のトラブルと保育者の関わりについて検討する				
	4	クラス経営について	クラスをまとめることと個性を尊重することについて理解する				
	5	子どもの学び・成長の理解②	連絡帳など子どもの様子を保護者へ伝える方法について理解する				
	6	〃	③	遊ぶ子どもの姿から子どもの遊びについて理解する			
	7	ディスカッションについて	ディスカッションの方法を身につける自分で考え、意見を他者に伝え、他者の意見を聴くことを実践する				
	8	保育・幼児教育の探究①	保育の中で「当たり前」とされていることについて議論する				
	9	保育・幼児教育の探究②	保育内容に関する課題を議論する				
	10	保育・幼児教育の探究③	保育・幼児教育に関する課題を議論する				
	11	保育・幼児教育の探究④	園生活に関する課題を議論する				
	12	保育・幼児教育の現代的課題について	保育の現代的課題について検討し、これからの保育者（幼稚園・保育所）に求められることを考える				
	13	安全対策・危機管理・災害対策について①	具体的事例をもとに保育における子どもの安全について理解する				
	14	安全対策・危機管理・災害対策について②	具体的事例をもとにリスクマネジメントについて理解する				
	15	自己課題の明確化	履修カルテに記録された学習の履歴を通して自己課題を明確にする				
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 履修カルテに記録された学習の履歴を通じて、自己の課題を明確に説明できるか 保育・幼児教育の現代的課題について、行政職員や保育者の講義等を通じて理解したか グループワークやディスカッションを通して、他者と意見交換し、保育・幼児教育に関する現代的課題について考察できるか 						
評価方法	最終課題・レポート 55% 授業態度・振り返りシート 45%						
フィードバック方法	課題を確認したら、授業内で返却する						
アクティブラーニング	グループワーク、ディスカッション						
教科書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針原本』内閣府・文部科学省・厚生労働省						
参考書	参考資料は、授業時に配布する						
履修条件	履修カルテの整理・提出をする。自分が当たり前だと思っていることに対して、疑ってみて、自分の頭で考え、考えたことについて根拠をもって他者に伝えること。さらに、他者の意見を聴きくなかで、自分とは異なる意見をも歓迎できることを願っている。						
授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習（30分程度）：授業計画で示された事項について、日常的に好奇心をもち、読書（教科書関連箇所含む）や友人との討議の機会をつくり思考を深めること 事後学習（1時間程度）：「振り返りシート」に授業で扱った事項に関する学びと自己の課題を記述する 						
オフィスアワー	オフィスアワーの時間は、掲示板に掲示する						